

ハラール認証の概要と制度

現在、イスラム教徒の世界人口は約16億人であり、2020年にはイスラム教徒は世界人口の約4分の1を占めることが予測されています。本号では、ハラール認証の概要と制度について紹介いたします。

1. 拡大するイスラム人口

現在、イスラム教徒の世界人口は約16億人であり、イスラム教徒が住む地域の出生率が高いことから、2020年にはイスラム教徒は世界人口の約4分の1を占めることが予測されています。日本のイスラム教徒は、現在全人口の1%未満ですが、マレーシアやインドネシア等、イスラム教徒人口が多い国からの旅行者数は近年大きく伸びています。今やハラールの食品関連マーケットは全世界ベースで約60兆円、食品以外も含めたハラール市場は全世界で300兆円とも言われており、イスラム人口の増加と共に、今後市場は更に拡大する事が見込まれます。



(写真：田中庸介/アフロ)

2. ハラールとハラール認証

「ハラール」とはイスラム法において「合法、許された」という意味を持ち、「イスラム教徒が使用することを許されたもの」を意味します。ハラール認証は、「イスラムという宗教上のルールで問題ない」という保証であり、イスラム教徒の消費者に安心・安全・信頼を与える鍵となります。これに対して、イスラム法において禁じられたものを「ハラーム(=ノンハラール)」と言い、よく知られた「ハラーム」としては、豚やお酒などがあげられます。

また、ハラールの食品であってもハラームと混ざったりしたものはハラールではなくなってしまいます。ハラールは飲食品の基準として有名ですが、実際はイスラム教徒が日常生活で口にするものや直に肌につける化粧品などにも適用されます。

3. ハラール認証とロジスティクス

ハラールは、イスラム教徒の食品基準と認識されている場合が多いですが、前述の通り、ハラール認証を受けた食品であっても、一旦ハラールでないものと接触してしまうと、「けがれた」とみなされて、原材料等の基準を満たしていてもハラールではなくなってしまいます。つまり、原材料や製造工程だけでなく、物流においてもハラールの確保が必要です。物流におけるハラール認証基準は、下記の例が挙げられます。

- ・工場などの搬入・搬出口は混ざりが発生しないように専用口であること
- ・保管場所がハラール専用であること
- ・輸送用コンテナには宗教的洗浄を施すこと
- ・ハラール製品を扱う従業員が同時にハラームなものを取り扱わないこと
- ・流通工程においては、ハラール専用のトラックによる輸送を行うこと

ハラールとハラームの区別にあたり間違いが生じないよう、タグなどの色分けで簡単に見分けられるようにすることも求められます。また、ハード面のみならず、ハラールのサプライチェーンに従事する従業員への研修制度、マネジメント体制等のソフト面も必須条件です。何れのケースにおきましても、具体的には認証機関等にご確認ください。

4. インドネシアにおけるハラールの取り扱い

現在いち早くハラール認証制度を国として確立しているのは、マレーシア、シンガポール、タイや湾岸諸国(UAE、サウジアラビア等)ですが、インドネシアでは2019年10月までにハラール製品保証法が施行予定(公布は2014年)です。これにより飲食料品・化粧品のみならず、多くの製品に対してハラール取得が義務化される可能性があります。政府内では全ての製品やサービスに対してはハラール取得を義務化しない方向で議論が進んでいます。運用の詳細を示す実施細則の制定については、現時点でめどが立っていませんが、単独国としては世界最大のイスラム人口を抱える国における動きとして注目されています。

5. まとめ

今後、国内外で拡大が予想されるハラール市場に対応するためには、ロジスティクスのハラール認証を受けた物流体制の構築が必要となります。日系物流企業においても、マレーシア、タイ、インドネシアにおける保管倉庫、物流施設でハラール認証の取得を進めており、ハラール物流サービスの拡大を進めています。一方、ハラール認証は認証基準、適用範囲や検査方法が国によって異なるため、各国の法制化など最新の動向に注意する必要があります。



【出典】

「日本貿易振興機構(ジェトロ)」2019年10月までに施行予定のハラール製品保証法(インドネシア)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/.../a1a86fedca208b4.html>

「日本貿易振興機構(ジェトロ)」日本産農林水産物・食品輸出に向けたハラール調査報告書

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2014/07001665.html>

「日経新聞」<https://www.nikkei.com/article/DGXLASGM04H01W5A400C1EAF000/>

ハラールとハラール認証について - 農林水産省 www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/yusyutu/pdf/jetro.pdf

宮城県ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/pdf/syokushin/muslimomotenashi2.pdf>

中小企業のハラールへの取組 - 中小企業研究センター <https://www.chukiken.or.jp/study/report/129.pdf>

日通総研 <https://www.nittsu-soken.co.jp/report/lreport22>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html